

APRC-FY2022-PD-CHN10

海外の政策文書

原文： 科技部等部门印发《加强“从0到1”基础研究工作方案》（中华人民共和国科技部等）2020年1月

URL： [http://www.cac.gov.cn/2020-03/04/c\\_1584872637385792.htm](http://www.cac.gov.cn/2020-03/04/c_1584872637385792.htm)

**【中国】**

「『0から1』を生ま出す基礎研究強化活動ガイドライン」

(Tentative translation)

**【仮訳・編集】**

国立研究開発法人科学技術振興機構

アジア・太平洋総合研究センター

### 【ご利用にあたって】

本文書は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（Asia and Pacific Research Center；APRC）が、調査研究に用いるためアジア・太平洋地域の政策文書等について仮訳したものとなります。APRCの目的である日本とアジア・太平洋地域との間での科学技術協力を支える基盤構築として、政策立案者、関連研究者、およびアジア・太平洋地域との連携にご関心の高い方々等へ広くご活用いただくため、公開するものです。

### 【免責事項について】

本文書には仮訳の部分を含んでおり、記載される情報に関しては万全を期しておりますが、その内容の真実性、正確性、信用性、有用性を保証するものではありません。予めご了承下さい。

また、本文書を利用したことに起因または関連して生じた一切の損害（間接的であるか直接的であるかを問いません。）について責任を負いません。

APRCでは、アジア・太平洋地域における科学技術イノベーション政策、研究開発動向、および関連する経済・社会状況についての調査・分析をまとめた調査報告書等をAPRCホームページおよびポータルサイトにおいて公表しておりますので、詳細は下記ホームページをご覧ください。

（APRCホームページ） <https://www.jst.go.jp/aprc/index.html>



（調査報告書） <https://spap.jst.go.jp/investigation/report.html>



本資料に関するお問い合わせ先：

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（APRC）

Asia and Pacific Research Center, Japan Science and Technology Agency

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ

Tel: 03-5214-7556 E-Mail: [aprc@jst.go.jp](mailto:aprc@jst.go.jp)

<https://www.jst.go.jp/aprc/>

科技部などの当局が「『0から1』を生み出す基礎研究強化活動ガイドライン」を発表  
2020年03月04日 15:23 ソース：科技部公式サイト

科技部 発展改革委員会 教育部 中国科学院 自然科学基金委員会が発表した「『0から1』を生み出す基礎研究強化活動ガイドライン」の通知

国科発基〔2020〕46号

各省、自治区、直轄市、および計画的独立財政市の科技庁（委、局）、発展改革委員会、教育庁（委、局）、新疆生産建設兵団科技局、発展改革委員会、教育局、國務院の関連当局、関連の直屬機関、各関連機関へ

「國務院の基礎科学研究を全面的に強化するための若干の意見」（国発〔2018〕4号）を徹底的、かつ一歩踏み込んで実行に移し、テクノロジーイノベーションに対する基礎県有の成果の提供、牽引的役割を十分に発揮させ、中国の基礎研究は、「0から1」を生み出す、オリジナリティな成果が不足しているという問題を解決するべく、科技部、発展改革委員会、教育部、中国科学院、自然科学基金委員会は共同で「『0から1』を生み出す基礎研究強化活動ガイドライン」を制定した。ここに通知するガイドラインを、各機構の実際の状況に合わせて、徹底して実行に移してもらいたい。

科技部 発展改革委員会 教育部  
中国科学院 自然科学基金委員会

2020年1月21日

（本文書は公開文書である。）

## 「0から1」を生み出す基礎研究強化活動ガイドライン

中国共産党第19回全国代表大会の精神や「國務院の基礎科学研究を全面的に強化するための若干の意見」（国発〔2018〕4号）を徹底的に実行に移し、中国の基礎研究は、「0から1」を生み出すオリジナリティな成果が不足しているという問題を解決し、テクノロジーイノベーションに対する基礎研究の成果の提供、牽引的役割を十分に発揮させるべく、以下の活動ガイドラインを制定する。

### 1. 全体構想

現在、新たなテクノロジー革命、産業変革が巻き起こっており、国際競争は、基礎研究の競争へと移り変わり、科学研究は、さらに幅広い範囲へと拡大し、さらに奥深いミクロの世界に入り込み、さまざまな分野の融合、集合が加速し、一部の基本的な科学的問題は、重大なブレイクスルーが実現し、さらに、新しい重大な科学思想、科学理論、破壊的技術が今後生まれると期待されている。そのため、国際テクノロジー競争で優位性を確保するためには、「0から1」を生み出す基礎研究を強化し、新たな分野を開拓し、新理論を提起し、新たな方法を発展させ、重大で先駆的、イノベーションの基礎となる成果を挙げなければならない情勢である。「0から1」を生み出すオリジナリティあるブレイクスルーを実現するためには、長期にわたって幅広い知識を積み重ね続けるほか、科学者の瞬間的な

ひらめきが必要となる。また、基礎研究に対する長期的、かつ安定したサポート、優位性ある分野に焦点を合わせて、一步踏み込んでポイントを際立たせ、必要なことと不必要なことを見極めなければならない。

#### (1) 指導思想

習近平国家主席の新時代の中国の特色ある社会主義思想を指導とし、世界のフロントテクノロジー、国家戦略のニーズ、国民経済の主戦場に合わせ、重大な科学的問題やキーテクノロジー・コアテクノロジーのブレイクスルーをめぐり、人間本位とし、改革を深化させ、環境を最適化し、安定したサポートを行い、イノベーションを管理し、基礎研究はオリジナリティを目指すという指針を強化し、科学研究者のイノベーションに注ぐ活力を刺激し、さらに多くの重大、かつオリジナリティな成果を生み出すことができるよう取り組み、世界テクノロジー強国建設のために強力な下支えを提供する。

#### (2) 基本原則

際立つ問題を目指す。基礎フロントの分野やキーテクノロジー・コアテクノロジーの重大な科学的問題をめぐり、ニーズを方向性とし、将来を見据えた牽引を堅持する。国家戦略のニーズを起点とし、重点分野の配置を強化し、分野、学科を超えた学際的研究を奨励し、カギとなる分野のファーストムーバーアドバンテージを築く。

人間本位という指針を堅持する。人材の成長の規律を遵守し、革新的人材評価制度を制定し、人材優先の発展戦略を一步踏み込んで実施し、青年人材やイノベーションチームの育成を重視し、青年人材のイノベーションに注ぐ活力を刺激する。名目、名声、チームの大きさにこだわらない。

方法のイノベーションを重視する。ビッグサイエンス、ビッグデータ、インターネット時代における科学研究の新たな特徴に適應し、科学研究プラットフォーム、科学研究の手段、方法・ツール、ハイエンド科学機器の独自開発、イノベーションを重視し、基礎研究のイノベーションの基礎となる能力を向上させることに重点を置く。

学術環境を最適化する。基礎研究の法則や特徴に合わせ、基礎研究の分類評価を推進し、通常と異なるプロジェクトをサポートするメカニズムを模索する。自由な研究を奨励し、科学研究者にさらに多くの学術的自主権を授与する。科学の精神を発揚し、果敢にイノベーションに取り組み、困難な事にコツコツと取り組み、学術的民主を尊重し、失敗に寛容な科学研究の環境づくりに励む。

安定したサポートを強化する。基礎研究への出資の構造を最適化し、国家重点実験室や国家テクノロジー計画などを活用し、長期的な発展に関係する基礎フロントの分野への安定したサポートを強化し、重大なオリジナリティある成果を生み出したり、キーテクノロジー・コアテクノロジーのブレイクスルーを実現したりできるよう取り組む。

## 2. イノベーションの基礎となる環境の最適化

(3) 原始的イノベーションに有利な評価制度を構築する。まず、代表的な評価制度を推進する。人やイノベーションチームに対する評価は、代表作の科学的水準や学術的貢献を重視し、論文を学術によるところを重視し、論文、肩書、学歴、受賞歴にこだわる傾向を避ける。次に国家重点実験室の新しい評価制度を制定する。定期的な評価や分類審査制度を堅持する。国家的ミッションをやり遂げた状況やイノベーションの効果を、重要な評価基準とし、イノベーションのクオリティ、学術的貢献を

中心とした評価制度を構築する。その他、オリジナリティある基礎研究プロジェクトを促進する評価制度を制定する。基礎研究プロジェクトは、新発見、新原理、新しい方法、新しい法則のオリジナリティ、科学的価値を重点的に評価し、代表的な成果のレベルに焦点を合わせて評価する。基礎研究応用プロジェクトは、経済・社会の発展や国家の安全関連の重大ニーズをめぐるカギとなる科学的問題を解決するうえで果たす役割、応用的価値を重点的に評価する。高等教育機関や科学研究所を、評価展開の試行地とする。

(4) 高等教育機関や科学研究所が基礎研究を独自に計画できるようサポートする。高等教育機関と科学研究機構が世界的に一流の科学研究機構、一流大学、一流学科を建設し、科学研究活動の規律を守りながら、基礎研究を独自に計画できるようサポートし、高等教育機関と科学研究機構に、独自に学科の配置や科学研究のテーマ選定できる権利を授与する。科学者が人気のテーマを追いかけるのではなく、重要な方向に合わせて長期的な研究を行い、注目されていないテーマでも、コツコツとした研究をして成果を挙げるよう奨励する。科学者が困難な事に、果敢にコツコツと取り組み、最先端の科学的問題に果敢にチャレンジし、オリジナリティある工夫を凝らし、新しい分野を切り開き、新しい理論を提起し、新しい方法を編み出し、新現象を発見できるよう取り組むよう奨励、サポートする。科学と教育の融合を推進し、重大なテクノロジーミッションをめぐる科学研究所人材育成を強化する。

(5) 重大基礎研究プロジェクトの形成メカニズムを改革する。テクノロジー計画プロジェクトの形成メカニズムを改善、改革するという要求にもとづいて、国家重大基礎研究プロジェクトの形成メカニズムを改善し、ガイド作成スタイルや効果的な競争、オープン性、プロジェクト審査メカニズム、審査専門家チーム結成などの面で、基礎研究プロジェクトの形成スタイル、管理方法を改善する。科学研究の過程におけるひらめきを十分重視し、オリジナリティある課題を対象にしたプロジェクト申請、評価・審査グリーンチャンネルを開設し、随時申請できるメカニズムを構築する。重大なブレイクスルーを目指すオリジナリティある研究を行う過程で、解決が急務なカギとなる問題を対象に、ローリング・プロジェクトを立ち上げる。国家重点研究開発計画は、香港・澳門（マカオ）地区の機構に対して開放し、国家自然科学基金については、香港・マカオ特別行政区の科学研究者を対象に、基金を支出するための、プロジェクト申請の具体的なガイドラインを一步踏み込んで検討し、段階的に実施する。

(6) 国際協力、交流を深化させる。政府間のテクノロジーをめぐる協力を深化させ、国際イノベーション協力プラットフォームを構築し、科学的フロンティア課題の研究を共同で展開する。国家テクノロジー計画の開放度を強化する。国際科学研究、協力、交流を奨励し、国際ビッグサイエンス計画やビッグサイエンスプロジェクトに積極的に参加する。

(7) 学風作りを強化する。学術の自由、民主を提唱し、真摯に、真実を求める良好なスタイルを堅持し、浮ついていて軽々しい雰囲気や極力避け、誠実で、真摯、かつ正しい指導を確立し、愛国心や国のために身を奉げ、誠実に信用を守り、名誉、利益を重視しない科学的精神を発揚する。科学研究活動の信頼性の高いオールプロセス管理を強化し、科学研究の信頼性に関する要求に背いた行為責任者に対しては、懲戒処分を科し、科学研究の偽造などの不正行為に対する処罰を強化する。

### 3. 国家テクノロジー計画のオリジナリティを重視する方向性を強化する

(8) 国家自然科学基金のオリジナリティを重視する方向性を強化する。各学科・分野のバランスが取り、協調性がある、持続可能な発展を安定してサポートし、数学、物理などの重点基礎学科に対するサポートを強化し、基礎数学の分野の科学研究者が数学のフロンティア課題をめぐって展開する基礎理論研究を安定してサポートし、発展の基礎を固める。自由な模索を堅持し、オリジナリティを際立たせ、科学的課題を目指すことと、ニーズ牽引の両方を重視し、科学者が科学研究活動において、自身が興味を持つ分野と、国家戦略の需要をしっかりと結び合わせるよう導き、フロントサイエンスの牽引と開拓を実現し、イノベーションの起源となる能力を全面的に向上させる。学科建設の主な方向性を堅持し、学際的研究を推進し、学科の融合を強化し、学科の発展の新しい方向性を定める。一般プロジェクト、青年科学基金プロジェクト、地域の科学基金プロジェクトを安定してサポートし、科学基金支援の範囲内で、自由にテーマを選択するよう奨励する。オリジナルプロジェクトの専用チャンネルを開設し、専門家、またはプロジェクト責任者が署名した推薦を採用し、期限などを定めずに申請を受理し、特別な評価・審査、意思決定スタイルの実施を模索し、研究のイノベーションの基礎となる程度に着目し、プロジェクトの前期活動の基礎、実行の可能性などに対するハードルを下げ、通常とは異なるプロジェクトの実施メカニズムを整備、最適化する。

(9) 国家テクノロジー計画において、重要なオリジナリティある方向性へのサポートを際立たせる。世界を視野に入れる姿勢を堅持し、世界のフロントテクノロジーの発展の動向を把握し、長期的な発展に関係する基礎フロントの分野において将来を見据えた計画を行う。重大な特定項目や重点研究開発計画において、基礎研究の重点分野のオリジナリティある方向性に対するサポートを際立たせ、量子科学、脳科学、ナノサイエンス、幹細胞、合成生物学、発育プログラミング、地球規模の変化とそれに対する対応、タンパク質機器、ビッグサイエンス設備のフロンティア研究などの重点分野を継続的にサポートし、重点分野や重大プロジェクトなどの国家重大戦略の需要においてカギとなる科学的課題に的を絞って、応用数学、学際的研究を強化し、重力波、エクストリーム製造、触媒科学、物質の状態コントロール、地球システム科学、ヒト疾患モデル動物などの分野の計画を強化し、フロントサイエンスの研究において優位性を確保する。「トランスフォーマティブな技術のカギとなる科学的課題の重点特定項目」の企画スタイルやメカニズムを変革し、トランスフォーマティブな技術のカギとなる科学的課題の研究を強化し、中国の科学者がオリジナリティあるブレイクスルーを実現し、前途が明確で、トランスフォーマティブな影響を産む可能性のある技術モデルを応用するようサポートし、経済、社会の発展に重大な影響を及ぼすプロスペクティブ、かつオリジナリティな基礎研究、フロンティアな学際的研究に対するサポートを強化し、破壊的イノベーション成果の誕生を促進する。

(10) 国家テクノロジー計画においてカギとなるコアテクノロジーにおける重大な科学的課題に対するサポートを際立たせる。国家の重大需要に関して、カギとなるコアテクノロジーにおける重大な科学的問題に対する、長期的なサポートを行う。人工知能やネットワーク協働型製造、3Dプリント・レーザー製造、重点基礎材料、先進的電子材料、構造・機能材料、製造技術・キーパーツ、クラウドコンピューティング・ビッグデータ、高性能計算、ブロードバンド通信・新型ネットワーク、地球観測・測位システム、光エレクトロニクスデバイス・光集積、生物繁殖、ハイエンド医療器械、集積回路・マイクロ波装置、重大科学装置・設備などの重大分野を重点的にサポートし、キーテクノロジー・コアテクノロジーのブレイクスルー実現を促進する。

#### 4. 基礎研究人材育成を強化

(11) 健全な基礎研究人材育成メカニズムを構築する。イノベーション人材育成、招聘、活用メカニズムが必要で、適切に人材を選び、活用しなければならない。世界のフロンティア分野で影響力のあるリーダー的存在の人材の育成を加速させ、リーダー的存在の人材にテクノロジー・ロードマップを策定する権利やプロジェクト経費の使い方を決定する権利、イノベーションチーム結成の権利を授与する。基礎研究の分野の青年人材育成を重視し、青年人材向けのサポート専用チャンネルを開設し、名誉や利益を重視せず、科学に身を奉げ、研究に没頭している優秀な青年人材を重点的にサポートする。教育改革を推進し、育成スタイルを改革し、科学の精神、創造力の育成を、教育の全プロセスで一貫して実施する。個人の能力や個性を伸ばす素質教育による育成を重視し、基礎研究人材のイノベーション能力の教育、育成を強化し、基礎研究イノベーション能力を持つ人材を育成する。高等教育機関や科学研究所、企業などの人材誘致・インテリジェンス導入をサポートし、天下の英才を幅広く集める。

(12) 青年科学者の長期プロジェクトを実施する。現有のチャンネルを統括して利用し、重点を置いている研究の方向性に焦点を合わせ、30—40歳の高い職階に就いている、または博士号を持ち、長期間科学研究に従事する意向を持つ優秀な青年科学者をサポートする準備をし、オリジナリティある重大基礎フロント、キーテクノロジー・コアテクノロジーの科学的課題に焦点を合わせ、数学、物理、生命科学、宇宙科学、深海科学、ナノサイエンスなどの基礎フロントの分野、農業、エネルギー、材料、情報、生物、医薬、製造・エンジニアリングなどの応用・基礎の分野の基礎研究を展開する。方向性に合わせて人材を選び、人材に合わせてプロジェクトを計画する。青年科学者を選ぶ場合、一線の科学者が推薦する。推薦された青年科学者は確定している重点を置く方向性にもとづいて、プロジェクトを計画する。プロジェクトの責任者は、研究の内容やテクノロジー・ロードマップを独自に決定する。プロジェクトの全プロセスをフォローし、サービスを提供する。担当機関はプロジェクトチームのメンバーに対して、年俸制など、柔軟な分配方法を採用することができる。

(13) 国家テクノロジー計画において青年科学者をサポートする。中青年というのは、オリジナリティあるブレイクスルーを実現するうえでピーク年齢にあるため、国家テクノロジー計画を活用して青年人材を育成する。重点研究開発計画において、35歳以下の青年科学者に対するサポートを強化する。国家自然科学基金の「青年科学基金プロジェクト」や「優秀青年科学基金プロジェクト」、「傑出青年科学基金プロジェクト」などの支援計画に対するサポートを強化し、青年科学者が独自にテーマを選択して、基礎研究を展開するよう奨励し、段階別に、全系譜を対象にした、支援の程度や規模が合理的な人材支援体系を構築し、中青年科学者やイノベーションチームに対する継続的なサポートを強化する。博士研究員に対するサポートを強化し、中国国内外の優秀な博士号取得者を積極的に呼び込み、中国国内で博士研究員として研究に従事できるよう取り組む。

#### 5. 科学研究の方法・手段をイノベーション

(14) 重大テクノロジーインフラやハイエンド共通科学機器の設計、研究開発を強化する。宇宙・天文、素粒子物理学・原子核物理学、エネルギー、生命、地球システム・環境、新材料、エンジニアリング・技術などの世界的なフロントテクノロジー、国家戦略において差し迫った必要のある分野に

焦点を合わせ、一連の重大テクノロジーインフラを建設する計画を策定する。重大テクノロジーインフラを活用して、フロントサイエンス研究を展開し、経済、社会の発展をめぐる重大なテクノロジー関連の問題を解決する。施設が集まっている相乗効果を十分に発揮させ、中国国内外のイノベーションリソースを呼び込み、テクノロジーの融合を促進し、世界的にトップレベルの科学研究チームを作り上げる。オリジナリティある学術思想を育てる探索的科学機器、設備を研究開発し、ハイエンド共通科学機器・設備や専門的な重大科学機器・設備の研究開発、プロジェクト化・産業化研究に焦点を合わせ、ハイエンド科学機器、設備産業の急速な発展を促進する。

(15) 科学研究の手段の独自開発やイノベーションを大々的にサポートする。科学研究プラットフォームや科学研究の手段、方法、ツールなどのイノベーションに対するサポートを一步踏み込んで強化し、オリジナル研究を展開する能力を向上させ、実験材料、データリソース、技術・方法、ツール・ソフトウェアなどの面のイノベーションを一步踏み込んで強化する。ハイエンド検査試剤、高純度試剤、高付加価値専用試剤の研究開発、科学研究用試剤の研究の展開に力を入れ、技術基準の構築を強化し、科学研究用試剤の質体系を整備する。テクノロジーリソースバンク（館）の建設、運営管理メカニズムを整備し、テクノロジー基礎リソースの整理、加工、保管、鑑定、テクノロジーイノベーション、経済社会発展に対する下支えを確保する能力を向上させる。国産ハイエンド設計・分析ツール、ソフトウェアの研究開発を奨励し、研究開発、設計の過程の自主的な安全保障を確保する。重大な研究開発のミッションにおいて、ハイエンド試剤や制御可能なソフトウェアの研究開発、基礎的な方法のイノベーションに対するサポートを強化する。

#### 6. 国家重点実験室の基礎的な成果を生むイノベーションを強化

(16) 国家重点実験室の波及効果、牽引的役割を発揮させる。国家重点実験室のイノベーションプラットフォームとしての役割を発揮させ、国家重大テクノロジーミッションの提起者、企画者として、中国全土の関連分野のテクノロジーの力を率先して統率し、集団のメリットを発揮させ、共同で難関攻略を展開し、業界内で波及効果、牽引的役割を担う。国家重点実験室を独立責任主体として申請し、国家テクノロジーミッションを担うメカニズム構築を模索する。

(17) 国家重点実験室の長期に渡る実績積み上げをサポートする。国家重点実験室が、重大な原始的イノベーションを生み出したり、学科の発展、国家戦略における重大テクノロジー問題の解決を推進したりするうえで、長期にわたって継続的に、特定の優位性を誇る分野のテクノロジーイノベーションを展開し、重点学科の分野やキーテクノロジーの分野において、継続的なイノベーションの能力を育てるようサポートする。国家重点実験室の独立性、自主権を強化し、国家重点実験室が重要な分野において最先端の模索を展開し、新しい方向性を見付け、新しい分野を発展させるよう奨励する。国家重点実験室に対する安定したサポートを強化し、フロント、長期に渡る積み重ね、オリジナルを際立たせることなどに焦点を合わせる。

#### 7. 企業の独自イノベーション能力を向上させる

(18) 企業が基礎研究を強化するよう推進する。企業が長期的な発展や競争力の向上のために、将来を見据えた基礎研究を計画するよう奨励する。企業が高等教育機関や科学研究機構などの基礎研究機構と連携し、各種研究開発機構、共同実験室を設置し、企業の実験室と高等教育機関、科学研究所



所の実験室の密接な連携、実質を伴う協力を強化し、基礎研究、応用基礎研究と産業化のマッチングを促進し、企業の研究開発能力を向上させるよう奨励する。企業内部のイノベーション環境づくりを重視し、企業がハイレベル人材を誘致し、高等教育機関や科学研究所と共同で基礎研究人材を育成するよう奨励する。国家テクノロジー計画の指導的役割を発揮させ、重大な特定項目や重点研究開発計画の論証、実施の過程において、企業家、産業の専門家がテクノロジーの専門家と共同で、生産の第一線に存在したり、経済、社会の発展に関係したりするカギとなる重大な科学的問題を洗い出すよう企画し、企業が国家科学研究プロジェクトを担うようサポートする。

(19) 企業が資金投入を強化するよう導く。企業の研究開発費用の75%が追加控除の対象になるなどの財政税務優待政策を徹底して実施する。条件が整っている企業に国家重点実験室を設置し、基礎研究や応用のニーズに対応する。国家自然科学基金企業イノベーション発展聯合基金を強化し、科学研究所と高等教育機関が企業の技術革新のニーズに注目し、企業が発展の過程で直面している重大な科学的問題や技術をめぐる難題を解決するよう推進する。

## 8. 管理サービスを強化する

(20) 企画の調和と統一した実施を強化する。基礎研究の戦略コンサルティング専門家委員会を立ち上げ、基礎研究のトップレベルデザイン、統一した調整を強化し、基礎研究の発展の動向を見極め、基礎研究の重大なニーズを洗い出し、重大な業務を計画する過程で、戦略コンピューティングの役割を発揮する。当局間が意思の疎通を測り、調整を行うメカニズムを構築し、各種テクノロジー計画が基礎研究をサポートする支援政策、管理メカニズムを統一して制定、構築する。中央政府と地方の連携、連動を強化する。知的財産権制度の激励の役割を発揮させ、知的財産権の所有権の帰属に関する改革を促進し、知的財産権の運用、保護を強化する。

(21) 中央財政の安定したサポートを強化する。中央財政の基礎研究に対する安定したサポートを強化し、健全で安定したサポートと競争性サポートが調和を保つ出資メカニズムを構築する。中央政府と地方が共同で出資し、共同で国家重大基礎研究ミッションを企画する新しいメカニズムの採用を模索する。

(22) 地方政府や社会の力の基礎研究への出資を強化する。地方政府がその優位性や特色に合わせて、地方の基礎研究や応用基礎研究を強化する政策、対策を打ち出し、基礎研究に対するサポートを強化するよう奨励、サポートする。新型研究開発機構の共同設置、共同支援、慈善寄付などの対策を模索し、企業と社会の力が基礎研究に対する出資を強化するよう奨励する。北京や上海、広東省、香港地区、マカオ地区のテクノロジーイノベーションセンター、北京怀柔、上海張江、合肥、深センの総合性国家科学センターは、基礎研究への資金投入、基礎研究能力の向上を強化しなければならない。

(23) 管理当局の活動スタイルを改善する。テクノロジー管理当局は、ポジションを高め、統一した計画を確実に、「戦略、計画、政策、サービスに照準を絞る」姿勢を堅持し、政府の機能転換、「放管服改革」（行政のスリム化と権限委譲、緩和と管理の結合、サービスの最適化）を一步踏み込んで推進しなければならない。科学研究所や高等教育機関の科学研究管理部門は、微視的管理サービスのレベルを全面的に向上させ、権限の移譲においては実効性を、監督・管理においてはイノベーシ

ョンを、サービスにおいては向上を追求し、基礎研究に有益な科学研究エコロジカルシステムを作り上げるよう取り組む。